

皆さん、こんにちは！ 待ちに待った「第15回 全日本 学生フォーミュラ大会」がいよいよここエコパ(静岡県)にて開幕しました。

今年は海外チームを含めて94チームが本大会にエントリーしています。本日から9日(土)まで5日間のモノづくりにかけた学生らの「熱いバトル」にどうぞご期待ください。

### ■ ピット作業のようす

各チームとも割当てられたピットにてマシンの整備に余念がありません。



### ■ 車検

7日からの動的審査に先立ち、スタジアム東側の車検テント内で行われています。

動的審査に進むには車検通過が絶対条件となり、与えられた時間内で学生・審査員とも真剣にマシンに向き合っています。

### ■ 開会宣言

全体ミーティングに先立ち18時20分、窪塚大会副委員長による開会宣言が行われ、正式に本大会がスタートしました。



お知らせ：本号（VOL. 1）のみ夕刻の発行となりますが、次号以降は毎朝の発行となります。公式Webサイトにも随時アップされますので、どうぞお楽しみに！

■ 本日の公式予定

- ・ 8:00～ 昨日に引き続き、車検および静的審査（スタジアム側）
- ・ 9:30～ プラクティス（動的審査エリア側）

■ 静的審査のようす

コスト書類と車両との整合性、車両の工夫点、仮想の企業への提案を審査する静的審査が行われています。



デザイン審査



コスト審査



プレゼン審査

■ 車検テントのようす

明日(7日)からの動的(マシン走行)審査進出のためには車検の全検査項目の合格が絶対条件。学生も車検員とも表情は真剣そのものです。



チルト検査  
(傾斜時の燃料漏れ等の確認)



緊急時脱出テスト  
(5秒以内で脱出可能かを確認)



■ プラクティス

車検を通過したマシンはプラクティスエリアで試運転・各部の微調整に取りかかります。  
→ご見学の際、ご入場を制限するゾーンがありますので、ご注意ください。

お知らせ：本日12:00より正面「チケットうりば」にてスーパーフォーミュラの「解体ショー」が行われます。めったに見れないプロ・マシンの細部をどうぞお見逃しなく！



■ **今日の公式予定** ~ **いよいよ動的(マシン走行)審査が始まります!**

- 7:30~ プラクティス
- 8:00~ 9:30/15:30~17:30 動的審査; オートクロス
- 10:30~12:00/12:45~14:30 動的審査; アクセラレーション, スキッドパッド  
本日よりすべてのエリアでのガイドツアーが実施されます。

■ **昨日のようす**

● **車検 (ブレーキ検査)**

4輪とも同時にロックし所定のブレーキ性能を備えているかを検査します。



● **プラクティス (試運転)**

全ての車検を通過したマシンが動的エリアへ移動し、プラクティスを実施します。



● **車検通過情報 (6日 19:00現在)**

49台のマシンが全ての車検を通過し、本日からの動的審査に挑みます。

- URL → [http://formula.jsae.or.jp/docu/inspection\\_20170906-1900.pdf](http://formula.jsae.or.jp/docu/inspection_20170906-1900.pdf)

**耳より情報!**



~ 各マシンの計測タイムを随時更新! ~  
本日から行われる動的審査の計測タイムを公開するサイトがオープン! これは見逃せません!  
• URL → <http://jsae-res.com/result>

お知らせ: 本日より協賛企業様によるPRコーナーがチームピット周辺にて開催されます。日本のモノづくりを支える最新テクノロジーをぜひご覧ください。

## ■ 今日の公式予定

- ・ 7:30~17:00 プラクティス
- ・ 8:00~17:30 エンデュランス
- ・ 18:30~19:30 デザインファイナル（アリーナにて開催）

## ■ 昨日のようす

### ● アクセラレーション

0~75mの直線加速性能を競います。チームの期待を受けて、文字通り「アクセル全開！」です。



### ● スキッドパッド

内径15mの「8の字コース」で定常円旋回性能を競います。マシンの性能だけでなく「ノーミスかつ速く」という運転テクニックも要求されます。



## 耳より情報！



～ 各マシンの計測タイムを随時更新！～  
動的審査の計測タイムを随時更新するwebサイトを  
公開中！これは見逃せません！

・ URL→ <http://jsae-res.com/result>

お知らせ：6日までにおこなわれましたデザイン審査ベスト3校による「デザインファイナル」がアリーナで開催！学生の知恵と努力がもっとも結実したのはどのチームのマシンか？…ぜひアリーナにお越しください！

## ■ 昨日のようす

### ● オートクロス

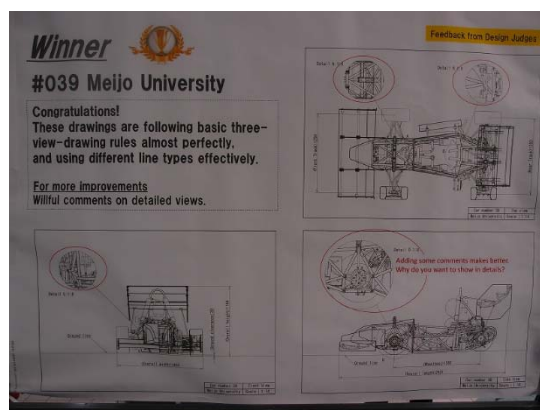
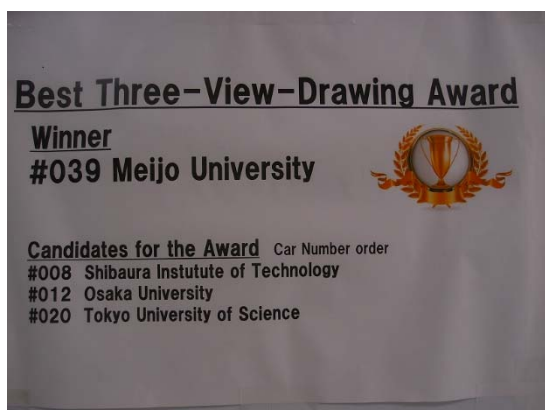
約800mの複合コースでのタイムトライアル。オートクロスのタイムでエンデュランスの出走順が決まりますので、各チームとも猛然とタイムアタックを敢行！！



### ● ベスト三面図賞が発表される！

「設計行為の集大成である<図面>を通じてもっとも多くの情報を的確に審査員に伝えた」として名城大学チームが受賞しました！

- URL→ [http://formula.jsae.or.jp/docu/official-announcement\\_No5.pdf](http://formula.jsae.or.jp/docu/official-announcement_No5.pdf)



## 耳より情報！



～ 各マシンの計測タイムを随時更新！～  
動的審査の計測タイムを随時更新するwebサイトを公開中！これは見逃せません！

- URL→ <http://jsae-res.com/result>

お知らせ：6日までにおこなわれましたデザイン審査ベスト3校による「デザインファイナル」がアリーナで開催！学生の知恵と努力がもっとも結実したのはどのチームのマシンか？…ぜひアリーナにお越しください！



いよいよ最終日を迎えました。学生たちの「熱い走り」にご期待ください！

## ■ 今日の公式予定

- ・ 7:30～ プラクティス
- ・ 7:30～ エンデュランス②
- ・ 12:30～ エンデュランス③（オートクロス トップ6校）
- ・ 15:30～ 交流会（スタジアム前広場）
- ・ 17:30～ 表彰式（アリーナ）

## ■ 昨日のようす

### ● エンデュランス①

約1kmの複合コースでの耐久走行。2名のドライバーで20周を走破します。全力を尽くしてコースに挑む姿はまさに学生フォーミュラの「花形」！チェッカーフラッグをめざしアクセル全開です！



### ● ピットでの学生同士の自主交流

全審査を終えたチーム間では、お互いのマシンづくりについてのQ&Aなどがやりとりされています。

同じ大会に参加した学生同士の絆が生まれる一つの瞬間です。



お知らせ：スタジアム前広場では、すべての審査を終えた学生同士の交流会が行われます。一般のお客様もご参加OKです。学生たちの「熱い想い」に触れてみてはいかがでしょうか？

## ■ 最終日(9日)のようす

大会最終日、好天の中でエンデュランスの最終審査と表彰式が行われました。ICVクラスは京都工芸繊維大学が2連覇達成、EVクラスは名古屋大学が初優勝しました。

## ■ エンデュランス (午前のようす)



7時30分、まずはEVクラスからスタート！



完走したマシンで仲間と喜びを分かち合います。

## ■ エンデュランス・ファイナル6 (午後のようす)



ファイナル6ではハイペースな走行での息づまる熱戦が繰り広げられました。



## 表彰式

### <総合表彰>



- 経済産業大臣賞～  
（全ての審査に参加し総合得点が最も高いチーム）  
・京都工芸繊維大学
- 国土交通大臣賞～  
（安全技術、環境技術、新技術の評価が最も高いチーム）  
・名古屋大学EV
- 静岡県知事賞～  
（静的審査、動的審査(エンデュランス除く)、安全、騒音、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム）  
・名古屋大学EV
- 掛川市長賞～  
（動的審査の得点が最も高いチーム）  
・名古屋工業大学
- 袋井市長賞～  
（静的審査の得点が最も高いチーム）  
・名古屋大学EV
- 日本自動車工業会会長賞～  
（全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム  
～ただし、書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと）  
・26チームに授与
- 日本自動車部品工業会会長賞～  
（エンデュランス完走チームのうち、コスト審査、プレゼン審査、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム）  
・京都工芸繊維大学
- ICV総合優秀賞～  
（全ての審査に参加し、ICVクラスで総合得点の上位6チーム）  
1位 京都工芸繊維大学  
2位 芝浦工業大学  
3位 名古屋工業大学  
4位 日本自動車大学校  
5位 横浜国立大学  
6位 Tongji University
- EV総合優秀賞～  
（全ての審査に参加し、EVクラスで総合得点が最も高いチーム）  
・名古屋大学EV



<種目別表彰>

●プレゼンテーション賞

- 1位:名古屋大学EV
- 2位:金沢工業大学
- 3位:神戸大学

●コスト賞

- 1位:京都工芸繊維大学
- 2位:東京都市大学
- 3位:東京農工大学

●デザイン賞

- 1位:京都大学
- 2位:名古屋大学EV
- 3位:Harbin Institute of Technology  
at Weihai

●加速性能賞

- 1位:Tongji University EV
- 2位:Tongji University
- 3位:名古屋大学EV

●スキッドパット賞

- 1位:芝浦工業大学
- 2位:上智大学
- 3位:名古屋工業大学

●オートクロス賞

- 1位:京都工芸繊維大学
- 2位:名古屋工業大学
- 3位:芝浦工業大学

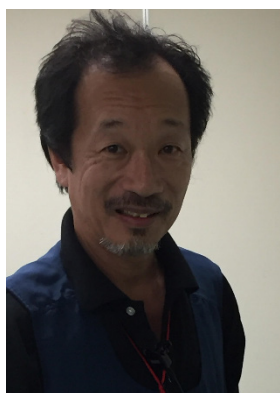
●耐久走行賞

- 1位:名古屋工業大学
- 2位:京都工芸繊維大学
- 3位:芝浦工業大学

●省エネ賞(燃料消費効率)

- 1位:Harbin Institute of Technology  
at Weihai EV
- 2位:名古屋大学EV
- 3位:Liaoning University of Technology EV

## 玉正大会実行委員長から



本年も国内外から多くのチーム(国内73、海外21)に会場参加いただき、また大勢の来場者の方々にお越し頂き誠にありがとうございました。

参加者の皆様やスタッフの皆様のご協力により、全審査を予定通り行うことができました。ありがとうございました。例年からのスケジュールを変更した大会3日目の動的審査におきましても、朝のセッションからチームが積極的に参加し、開催時間中は絶えることなく競技車両が走行する状況となり、多くのチームの参加を実現することができたのではないかと感じています。

喜びに浸ったチーム、悔しさを噛みしめたチーム、みなさんいろいろな体験をされたことと思います。この思い・体験を今後の活動につなげていただければと考えています。

またエンデュランスのランオーダーの発表が大幅に遅くなり、最終日の表彰式の開始が遅れましたこと、この場をかりてお詫びいたします。では、また来年、一回り大きくなった皆様と再会できることを楽しみにしています。